

《 船員社会ニュース 》

◆ 改正漁業法について⑧

水産部

-改正漁業法案の概要-

改正漁業法は、旧漁業法から大幅に改正されている。国会審議で論点となった主要な改正点

- ①目的規定
- ②水産資源の保存および管理
- ③許可漁業
- ④漁業権
- ⑤海区漁業調整委員会
- ⑥密漁対策に関する規定

-②水産資源の保存および管理- 管理目標として最大持続生産量(MSY)の導入

旧漁業法体系下の資源管理政策

安定した加入が見込める最低限の親魚資源量の維持・回復を目指す資源評価に基づく資源管理施策。

改正漁業法

規定 MSY(最大持続生産量)を水産資源量水準の目標とする

MSY水準を実現することを目指す資源評価に基づいてTACなどが設定される資源管理政策へと転換。国際的に遜色のない資源管理制度を導入するという観点から欧米諸国で利用されているMSYを導入。

「海員だより」



-MSY-

現在と将来の自然的条件の下で持続的に漁獲することができる水産資源の最大値を示し、国連海洋法条約に定められている既存の概念。欧米諸国ではMSYを利用した管理が実施されている